

学校番号	8	学校名	茨城県立日立北高等学校
------	---	-----	-------------

令和8年度道德教育全体計画

諸法規		校訓		生徒の実態	
・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・本県教育目標 ・学校教育指導方針		誠 実 克 己 創 造		・本校に通う生徒達は実に真面目である。基本的な生活習慣がしっかりと確立した凡帳面な生徒が多い。 ・部活動が活発で全国大会や関東大会に出場する部も多い。 ・国公立大学入試に備え大学入学共通テスト6教科8科目に幅広く積み最後まで学習する生徒が多く、平素から熱心にドリル等の積み上げ型学習に取り組む傾向が強い。 ・高校卒業後の進路目標が明確に決まらない生徒が少なくない。自主的自律的な学習態度の育成が課題である。	
保護者の願い		学校の教育目標		地域の実態	
・望ましい人間関係を築き、充実した高校生活を送る。 ・生徒一人一人に応じた進路希望を実現するためのきめ細かい指導を推進する。		(1) 生徒の進路希望達成に向け、全国に通用する確かな学力を養成するとともに、豊かな心及び強靱な気力・体力を育成し、自ら将来の進路を切り拓くことのできる能力を養う。 (2) 生徒と教職員が一体となって、明朗かつ意欲的、創造的で進取の精神に富んだ校風の確立に努め、生徒一人一人を大切にしている教育活動を推進する。 (3) 充実した教育活動を展開し適切な評価を行うことによって、生徒や保護者に信頼される学校づくりを進めるとともに、情報を広く公開することによって地域に愛され、地域に開かれた学校づくりを推進する。		・本校周辺は新興住宅地として開発が進み、新たなコミュニティが形成され大きく発展している。 ・地域の本校への関心や期待は高く、教育活動に対して深い理解を示している。 ・本校の卒業生も社会の中堅として活躍しており、本校に対して協力的である。	
各教科・科目		道徳教育重点目標		生徒指導	
国語	・生活や人生についての考えを深め、人間性を豊かにし、たくましく生きる意志を培う。	・個性の伸長に努め、向上心を持って価値ある人生を追求する。 ・男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、信頼と尊敬の心を持って接する。 ・勤労の意義と尊さを重んじ、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に寄与する。 ・いのちの尊さを深く理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。		・明朗闊達な校風を樹立するため、あいさつの励行に努めるとともに、言語環境の整備に配慮する。 ・進路相談・学習相談・教育相談等を計画的継続的に進めることにより、生徒一人一人の理解を深め、能力の伸長を図る。 ・生徒の自主性・自律性を養成するため、部活動や生徒会活動および校外活動等を積極的に推進する。	
地歴	・我が国及び世界の歴史と地理を学び、国際社会に生きる日本人としての自覚を育む。	特別活動		家庭との連携	
数学	・数学的な考え方のよさを知り、筋道を立てて考える能力を育てる。	ホームルーム活動		・授業の公開・面接・講演会の実施により保護者の教育活動に対する理解を深め、信頼感に基づく協力体制を構築する。 ・学年便り・学級便り・進路便り・保健便り等を通して本校の活動を家庭に連絡する。	
理科	・科学技術や自然環境の現状と課題を考察させ、人間生活との関わりについて探究させる。	・高校生としての自覚をもち、基礎となる価値意識を組み合わせ道徳性を発展させ、将来の在り方生き方について自分なりの考えを育む。 ・成年年齢が18才であることを受け、人生を切り拓いていくための道徳的実践力を高め、正しい判断力と社会に積極的に関わろうとする意欲を養う。		地域社会との連携	
保健	・各種運動の実践を通して、公正・協力・責任などの態度を養い、健康を管理する力を育てる。	・生徒会を中心に学校生活の充実や改善を図ろうとする自主的実践的な態度を育てる。ボランティア活動への取り組みを通して愛校心や郷土愛を養う。		・地域の社会人を講師として招いた「職業観育成セミナー」を実施し、実社会で求められる 資質についての理解を深める。 ・駅街頭でのあいさつ運動や通学路周辺清掃等のボランティア活動への参加を通して地域の方々との交流を深め、地域社会の一員であることに気づかせる。 ・ホームページ等を通して情報の発信に努め、学校評議員や地域の評価を得ることにより、学校の活性化に努める。	
芸術	・優れた芸術作品と触れあうことにより、感性を高め豊かな情操を養う。	公民科			
外国語	・言語や文化に対する理解を深め、異なる文化をもつ人の理解を深め共に生きていく態度を育てる。	公共			
家庭	・子の成長に果たすべき親の役割を考察し、男女が協力し社会を築くための実践力を養う。	・人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。 ・現代の社会について主体的に考察させ、民主的平和的な国家の形成者としての資質を養う。			
情報	・モラルやマナーを守り、情報化社会に主体的に対応できる能力と態度を育てる。				
総合的な探究の時間	・将来つきたい職業と大学での学問との関係を考察するためキャンパスレポートを作成する。 ・国際理解、環境、福祉、健康、人権などをテーマにした小論文学習をフォローアップ形式で実施する。 ・地域の環境整備のために奉仕作業を行う。				
専門					